広報 あじがさわ
2026 11
No. 666



特集 大雨災害から見えた、支え合いの力
復旧を支えたボランティアと地域のつながり

《今月の表紙》
10月13日、海の駅わんどで町内の年長児を対象に「深谷の栗」を使った和菓子づくり体験が行われました。
園児たちはスプーンで取り出した栗の実を栗あんと混ぜ、好きな形に整えながら地域の秋の味覚に親しみました。

特集

大雨災害から見えた、支え合いの力

復旧を支えたボランティアと地域のつながり



９月２日の大雨災害から、町は少しずつ日常を取り戻しつつあります。先月号では、発災直後の状況や町の対応をお伝えしました。

その後、災害ごみの処理や道路の復旧、被災した方への支援が進む中、暮らしの再建を支えるさまざまな人の姿がありました。

今月号では、復旧を支えたボランティア活動に目を向け、そこから見えてきた人と人、地域とのつながりについて考えます。

道路・交通、住まいの再建へ

～復旧が進むまちと暮らし～

今回の大雨は、住宅への浸水をはじめ、道路や農地など、町内各地に大きな被害をもたらしました。道路や河川、農地、農業用施設などの被害額は、およそ25億円にのぼります。

大きな被害を受けた町道中村長平線では、県による代行復旧工事が始まりました。また、「あじバス長平線」は経路を変更し、10月１日から運行を再開しました。

一方で、被災した住宅では、元の暮らしを取り戻すための取り組みが続いています。そのためには、家財の搬出や泥出し、床下の乾燥など、被害の状況に応じたさまざまな作業が必要です。

道路や交通とともに、一軒一軒の暮らしを取り戻すことも、災害からの復旧です。町では、社会福祉協議会と連携し、支援団体やボランティアとともに生活再建を支援してきました。



被災した方の暮らしを支えたボランティア
～ボランティアは「生活再建」のお手伝い～

町と社会福祉協議会は、９月８日に災害ボランティアセンターを設置しました。社会福祉協議会では、令和４年の豪雨災害での経験を生かし、発災直後、被災地域を回って一軒一軒の状況や困りごとを確認し、必要な支援へとつないでいきました。

今回の災害では、床下の確認や泥出し、乾燥、土砂の撤去など、専門的な知識や技術を必要とするケースもありました。

ボランティアは、被災した方の生活再建を支える活動です。泥出しや家財の搬出などは、そのための一つの手段。被災した方に寄り添いながら、日常を取り戻すための支援が続けられました。









支援を届けるために必要なもの
～声かけと情報共有が力に～

ボランティア活動を進める中で見えてきたのが、地域のつながりの大切さでした。

被災した地域では、町内会長など地域をよく知る人が、住民の状況や困りごとを抱える世帯の情報を関係機関と共有する場面もありました。こうした声かけや情報共有が、具体的な手助けへ結び付く力となりました。困っている人に気づき、声をかけ、必要な支援へつなぐことも、地域で発揮できる力です。日頃の関わりが、いざというときの「気づき」や「声かけ」につながります。

自分や家族の命を守る「自助」、地域で支え合う「共助」、行政や関係機関による「公助」。どれか一つではなく、それぞれの力が重なり合うことが復旧を支えます。



身近な「できること」もボランティア
～特別な活動だけではない日常の支え合い～

「ボランティア」と聞くと、募集に申し込み、登録して活動をするイメージがあるかもしれません。しかし、誰かを支えるために特別な一歩が必要なわけではありません。

私たちは、普段の暮らしの中で、すでに誰かを支えることのできる立場にいます。今回の災害でも、身近なつながりが必要な支援へと結びつきました。

できることは人それぞれです。力仕事が得意な人、軽トラックを出せる人、重機を扱える人、地域をよく知る人。大切なのは、みんなが同じことをするのではなく、それぞれの「できること」が、必要とする人や場所につながることです。

自分が困ったときには、周りの人に頼ることも大切です。助ける人と助けられる人は、いつも同じではありません。普段の何気ない声かけやつながりが、災害時に誰かの暮らしを支える力になります。

誰かのために、できること。今回の災害をきっかけに、身近な「できること」を考えてみませんか。

９月２日からの大雨災害 寄せられた支援と被害の状況

９月２日からの大雨により、町内では住宅の浸水や道路・河川の損傷、農地への土砂流入などの被害が発生しました。町に寄せられた支援やお見舞いと、これまでの調査で明らかになった被害の状況をお伝えします。

常陸宮妃華子殿下からお見舞いのお言葉

この度の青森県内の大雨により、特に鰺ヶ沢町内では、甚大な被害が出たことに、大変心を痛めております。

平田町長はじめ町民の皆様へ、心からお見舞いを申し上げます。

大雨による被害から、一日も早く復旧することを願っております。

災害復旧にあたる関係者の皆様には、どうか体調に気をつけ、作業にあたっていただきますよう、お願いします。

常陸宮妃華子

緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE」による調査支援を受けました



国土交通省の緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」が、９月５日から町内の道路や河川の被害状況を調査し、11日に被害の全体像を、16日に詳細な調査結果を町に報告しました。

「TEC-FORCE」は、災害時に専門的な知識や技術を生かし、被災した自治体の復旧を支援する国の派遣隊です。調査で得られた情報は、被害状況の把握や災害復旧事業の申請資料の作成に役立てられます。

友好協定を結ぶ久慈市から支援物資をいただきました



９月９日、岩手県久慈市から、支援物資として消石灰30袋、マスク１箱、保存水1,000リットル、土のう袋1,600枚をいただきました。中平均市長からは、被災された皆さんへのお見舞いと、一日も早い復旧・復興を願う言葉も寄せられました。

鰺ヶ沢町と久慈市は、大浦光信公が久慈から種里に入部した縁で、平成30年に「歴史文化で結ぶ友好協定」を締結し、歴史文化や災害時の支援、地域の活性化など幅広い分野で協力しています。

大雨災害による被害件数及び被害額

※10月６日時点で町が把握している数値です。

住宅等

区分	被害内容	被害件数
住家	床上浸水	19件
	床下浸水	46件
	雨漏り	1件
非住家	浸水	31件
小計		97件

※被害件数は、罹災証明書の申請件数に基づいています。

公共土木施設

区分	被害内容	被害額（千円）
河川	19河川・51か所	421,754
道路	32路線・58か所	685,243
小計		1,106,997

農林水産関係

区分	被害内容・件数	被害額（千円）
農作物	水稲・大豆など	16,608
農地	130件	378,500
農業用施設	83件	250,060
林道	８路線・24か所	200,772
治山	３地区・10か所	604,000
水産物	アユ・イトウ	1,300
小計		1,451,240

被害額合計（住宅等除く）

25億5,823万7,000円

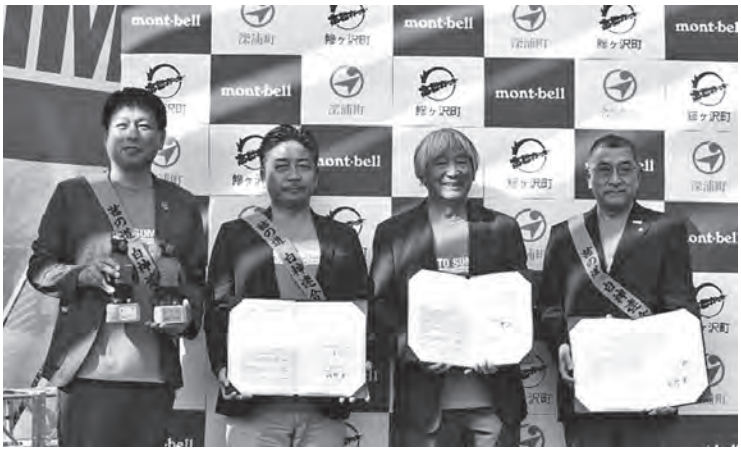
株式会社モンベルとの連携と協力に関する包括協定を締結しました

９月12日、鰺ヶ沢町と深浦町は、アオーネ白神十二湖（深浦町）で開催された「白神山地 SEA TO SUMMIT 2026」の開会式に合わせ、アウトドア用品メーカーの株式会社モンベルと包括協定を締結しました。

この協定は、アウトドア活動などの促進を通じて、地域の活性化と町民生活の質の向上を目指すものです。

締結式には、平田町長、深浦町の平沢一臣町長、株式会社モンベルの辰野勇代表取締役会長と、令和５年12月にモンベルと包括協定を締結している秋田県八峰町から、堀内満也町長が立会人として出席しました。

鰺ヶ沢町、深浦町、八峰町の３町は、白神山地や日本海、ＪＲ五能線、国道101号などの共通資源を有し、広域連携体「茜の道・白神連合」として、県境を越えた連携を進めています。町では今回の協定を契機に、モンベルが持つアウトドア分野の知見や発信力を生かし、自然資源を活用した観光振興や地域活性化につなげていきます。



左から、堀内町長、平沢町長、辰野代表取締役会長、平田町長

主な連携事項

① 自然体験の促進による環境保全意識の醸成
② 子どもたちの生き抜いていく力の育成
③ 自然体験の促進による健康増進
④ 防災意識と災害対応力の向上
⑤ 地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化
⑥ 農林水産業の活性化
⑦ 高齢者、障がい者等の自然体験参加の促進

9/24 避難所の安心・安全のために 県西部郵便局長会が簡易ベッドを寄贈



鰺ヶ沢町と深浦町の10郵便局で構成される県西部郵便局長会西津軽部会の小田桐秀樹部会長ほか６名が町役場を訪れ、地域貢献の一環として、避難所用簡易ベッド７台を寄贈しました。

小田桐秀樹部会長は「近年、地震や豪雨災害が頻発し、日頃からの備えの重要性が高まっています。今回の寄贈が、地域の皆さんの安心・安全の一助になれば」と挨拶しました。

寄贈いただいた避難所用簡易ベッドは、災害発生時の避難所運営などに役立てられます。

9/17 絵本で学ぶ思いやりの心 舞戸子の星こども園で人権教室



五所川原人権擁護委員協議会鰺ヶ沢・深浦部会が、舞戸子の星こども園で人権教室を開き、園児約50名が参加しました。

園児たちは、絵本『くものぷっかぷか』の読み聞かせなどを通して、相手の気持ちに寄り添い、やさしい言葉や行動で接することの大切さを学びました。

最後には、人権イメージキャラクター「人KENまもる君・あゆみちゃん」も登場し、園児たちは笑顔でふれあいました。

いきいき情報

健康や子育てに関する情報をお知らせします

げんきフェス2026を開催します

今年度も「げんきフェス」を開催します。今回は、プログラムの一つとして、高血圧を予防し、大切な血管を守るコツを学ぶ県民公開講座が行われます。自身の健康に関心を持つきっかけとして、ぜひご参加ください。

●**日　時**　**11月14日（土）**　12：00～15：30
●**場　所**　日本海拠点館
●**テーマ**　「循環器病の予防～脳と心臓を守るために役に立つお話から～」
※詳しくは、各家庭に配布したチラシをご覧ください。
※県民公開講座（第９回）は、弘前大学医学部附属病院　脳卒中・心臓病等総合支援センターおよび青森県が実施します。

お手軽元気健康チェック・脳の健康チェックを行います

「お手軽元気健康チェック」では、**血圧や骨密度、体組成など**の測定ができます。短い時間で測定できますので、毎日の健康管理にご活用ください。

また**「脳の健康チェック」**も同時に実施します。「最近、物忘れが気になる」「探しものが増えた」といったお悩みがある方は、ぜひご参加ください。



●**日　時**　**11月９日（月）**　14：00～16：00（ご都合のよい時間にお越しください）
●**場　所**　鰺ヶ沢町役場　１階　町民ホール
●**その他**　骨密度や体組成の測定は素足で行うため、タイツなどの着用はご遠慮ください。

11月の乳幼児健診日程

健　診	健診日［受付時間］	場　所	対　象	持ち物
５歳児健診	**11月12日(木)** [12：00～12：20]	中央公民館 ２階和室	令和３年10・11・12月生まれ	母子健康手帳 バスタオル　ほか

健康相談

日　時	地　区	場　所
11月10日(火) 10：00～11：00	鬼袋・一ツ森・大然・梨中	一ツ森林業センター
12月１日(火) 10：00～11：00	牛島	牛島集会所

からだすこやか栄養教室

●**内　　容**　お正月の郷土料理
●**日　　時**　11月25日（水）９：00～12：00（受付８：50～）
●**場　　所**　鰺ヶ沢町総合保健福祉センター　栄養指導室
●**参 加 料**　300円（傷害保険料含む）
●**申込締切**　11月20日（金）
※どなたでも参加できます。
※食生活改善推進員伝達講習会と併せて開催します。



申・問ほけん福祉課　健康こども班　☎82-0955



体内時計を整えて、血糖値の急上昇を防ごう

毎月１日は
あじがさわ健康の日

今月のテーマ
「糖尿病」

特定健診を受診した方の中には「血糖値」に異常があると言われた方や食事内容・食習慣の見直しを勧められた方もいるのではないでしょうか。

食事の内容やこれまでの生活習慣を急に変えることは、簡単ではありません。まずは、体内時計を整えて、血糖値が上がりにくい習慣や食べ方を意識することから始めてみましょう。

体内時計とは

人の体には、１日のリズムを刻む「体内時計」という仕組みがあります。体内時計が整うと、血糖値をコントロールするホルモンが正常に分泌されるようになり、血糖値の上昇を防ぐことができます。

血糖値の急上昇を防ぐには、毎日の小さな習慣が大切です。朝・昼・夜の過ごし方を見直し、できることから取り組んでみましょう。

朝の習慣

朝食をしっかり食べる
朝食は、体内時計のスイッチを入れる役割があります。

主食だけでなく、タンパク質を組み合わせて食べる
朝にタンパク質をとることは、筋肉量の維持やインスリンの働きを助けることにつながります。

昼の習慣

炭水化物だけの食事や甘い飲み物は控える
血糖値の急上昇や急降下を予防します。

昼食後に歩く
食後に体を動かすことで、血糖値の上昇が抑えられます。

夜の習慣

夕食は20時まで、飲酒は21時までに終える
20時以降は血糖値が上がりやすくなるため、注意が必要です。

夕食後にお菓子は食べない
夜間の間食は、高血糖の状態が続きやすくなるため注意しましょう。

「ダイアベティスウィーク（世界糖尿病週間）」をご存じですか？

11月14日は「世界糖尿病デー（World Diabetes Day）」です。これに合わせて、糖尿病の予防や治療の大切さを広く知ってもらうため「ダイアベティスウィーク」が設けられています。

町でもさまざまな健康イベントを開催しますので、ぜひ積極的に参加し、生活習慣の改善や健康管理に役立ててください。



●**期　間**　11月９日（月）～11月15日（日）
●**テーマ**　小さな一歩が未来を変える　―肥満対策とダイアベティス予防―

献血バスがやってきます
～献血は輸血を必要とする方を助ける唯一の手段です～

●**日時・場所**　**11月19日（木）**
9：30～11：40、13：00～14：15　鰺ヶ沢町役場前
15：00～16：00　特別養護老人ホームつくし荘

皆さんからいただいた血液は、けがをしたときの輸血に使用されるイメージがありますが、それは全体のごくわずかで、ほとんどは、がんなどの病気の治療に使用されています。

血液は、人工的に造ることができず、長期保存もできません。安定的に患者さんに血液を届けるためには、多くの方の協力が必要です。献血にご協力をお願いします。



問ほけん福祉課　健康こども班　☎82-0955

小中学生と地域で考えるこれからの学校 CSタウンミーティングを開催します



町では、９年間を見通した質の高い教育と、安全で快適な校舎環境を整えるため、令和12年４月の義務教育学校開校を目指しています。

今年度のCSタウンミーティングでは**「鰺ヶ沢の学校をどんな学校にしたらよいか」**をテーマに話し合います。

小中学生や地域住民の皆さんと一緒に、未来の鰺ヶ沢の学校の姿を考えます。

●**日時**　11月７日（土）10：00～12：00
●**場所**　日本海拠点館
●**対象**　小学校４年生以上の小中学生、地域住民の皆さん
●**内容**　学習内容や行事、学校生活、その他（人と人とのつながりなど）
●**申し込み**　地域住民の皆さんは、10月30日（金）までに、二次元コードからお申し込みください。

申・問**教育みらい課　社会教育班**　☎82-0972

原子力に関する意見交換会

放射線や原子力を巡る現状などについて理解を深めるため、意見交換会を開催します。当日は、参加者の皆さんからの質問にもお答えします。ぜひご参加ください。

●**日時**　11月26日（木）13：30～15：50
●**場所**　鰺ヶ沢町中央公民館　ホール
●**内容**　放射線の基礎について分かりやすく解説するほか、国・県・原子力事業者から原子力政策や事業の現状などを説明します。
　講　師　東京大学アイソトープ総合センター　飯本武志教授
　説明者　資源エネルギー庁、原子力規制庁、青森県、日本原燃（株）、リサイクル燃料貯蔵（株）、東北電力（株）
●**費用**　無料
●**申し込み**　11月12日（木）までに、メールまたはFAXで下記へお申し込みください。申し込みの際は、氏名とお住まいの市町村名をお知らせください。

申・問**青森県原子力立地対策課　広報企画グループ**
☎017-734-9738　FAX 017-734-8225
✉g-richi@pref.aomori.lg.jp



催し・講座

みんなで子育てフェスティバル

子どもから大人まで、家族みんなで楽しめるイベントです。遊んで、作って、食べて、見て、地域のみんなで楽しい時間を過ごしましょう！

●**日時**　11月23日（月・祝）９：30～13：00
●**場所**　日本海拠点館
●**対象**　子どもと家族はもちろん、妊娠・出産を予定している方、子育てに関わる方も大歓迎！
●**内容**　**体験・あそび**
　工作体験、多肉植物寄せ植え体験、クリスマスフォトスポットなど
　販売・飲食
　ハンドメイド作品、軽食・コーヒーなど
　おゆずり会（２階）
　子ども服、絵本、おもちゃなど
　ステージイベント
　読み聞かせ、ダンス体験、有志によるコンサートなど
●**費用**　無料（一部体験などは実費負担）

※おゆずり会は11月18日（水）～29日（日）に開催します。

問**教育みらい課　社会教育班**　☎82-0972

キャリア教育研修会

●**日時**　11月27日（金）10：00～12：00
●**場所**　つがる市生涯学習交流センター「松の館」
●**対象**　地域学校協働活動推進員、町社会教育担当者、地域住民など
●**内容**　「キャリア教育の視点からデザインする地域学校協働活動」をテーマにした研修会
　講師　文部科学省CSマイスター　猿渡智衛さん
●**費用**　無料

問**青森県総合社会教育センター　教育活動支援課**
☎017-739-1270
✉fumitoshi_arakiseki@pref.aomori.lg.jp

膨張したリチウムイオン電池は直接持ち込みを



スマートフォンやモバイルバッテリーなどに使われるリチウムイオン電池が膨張した場合は、通常の有害ごみとして出さず、**エコクリーンアフイへ直接持ち込んでください。**

膨張したリチウムイオン電池は、収集運搬時の衝撃などにより、**発熱・発火する危険**があります。安全なごみ収集のため、分別方法にご注意ください。

●**持ち込み先**　エコクリーンアフイ
（深浦町大字風合瀬字砂子川124番地）

●**対象**　鰺ヶ沢町在住の方

●**費用**　一般持ち込みの処分手数料は、10kg未満の場合110円です。

問**エコクリーンアフイ**　☎0173-76-3700

今月のイチオシBOOK

≪一般書≫「アルゴリズムの査証」
著：海堂　尊／出版社：宝島社



医師を戸惑わせる臨床研修マッチング、働き方改革…。東城大学医学部附属病院の生き残りをかけた改革。田口分院病院長の下で起こる若手とベテランの対立の行方は――。

≪児童書≫「パンどろぼうとさすらいラーメン」
絵：柴田　ケイコ／出版社：ＫＡＤＯＫＡＷＡ



ほかほかのパンとあつあつのラーメンが織りなす、熱血ハートフルストーリー開幕！

「パンどろぼう」シリーズ待望の最新刊！

●イチオシBOOKは、図書コーナーで借りることができます（新刊図書は貸出中の場合があります）。
また、１人２冊までの貸出制限にご協力をお願いします。〈予約可〉

●小学生以下のお子さんを対象に、こどもブックラリーを実施しています。ぜひご参加ください。

開館時間	９：00～17：00
休 館 日	月・火曜日 ※第４木曜日は蔵書点検のため、図書コーナーのみ休みです。
返却場所	日本海拠点館・中央公民館・舞戸公民館

問**日本海拠点館　図書コーナー**　☎72-5555

令和８年度参画まぐ・ねっと学習会

●**日時**　11月15日（日）10：00～11：00

●**場所**　五所川原市中央公民館　３階大広間　すてっぷ広場内（五所川原市字一ツ谷504番地１）

●**対象**　五所川原市、つがる市、鶴田町、中泊町、鰺ヶ沢町、深浦町の住民

●**内容**　「『まあいいか』がいつか『もう無理』になる前に」～家事調停のお話を聞いてみよう～

●**費用**　無料

●**共催**　NPO法人　子どもネットワーク　すてっぷ

※事前申し込みは不要です。

問**参画まぐ・ねっと事務局**
（五所川原市ふるさと未来戦略課　男女共同参画室）
☎0173-35-2111

暮　ら　し

脳神経外科の外来診療を開始しました

つがる西北五広域連合鰺ヶ沢病院では、令和８年９月から「脳神経外科外来」の診療を開始しました。

これまで地域になかった専門診療枠として、頭痛やめまいなどの相談から、脳卒中の予防・早期発見まで、地域で専門的な診療を受けられる体制を整えました。

「これくらいで受診してもいいのかな」と迷うような症状でも、気になることがある方はご相談ください。

このような症状はありませんか

・突然の激しい頭痛、または慢性的な頭痛
・めまい、ふらつき
・手足のしびれ、力が入らない
・話しにくい、ろれつが回らない
・もの忘れが増えた　など



●**日時**　毎月第１・第３・第５水曜日
８：15～11：00（再来受付機７：00～）

●**場所**　外科外来

問**つがる西北五広域連合　鰺ヶ沢病院**　☎72-3111

温水プール休館情報

イベント開催日	イベント名
11月１日（日） 10：00～12：00	小学校泳力チャレンジ記録会

※開催中、一般開放は行っていません。12：30から利用可能となりますので、お間違いのないようご注意ください。

問**室内温水プール**　☎72-5700

税・保険料

青色申告特別控除の見直し（令和８年度税制改正）

令和８年度税制改正により、令和９年分確定申告から、青色申告をしている個人事業主などを対象に青色申告特別控除の要件が見直されます。

青色申告特別控除のうち、75万円または65万円を適用するためには、e-Taxの利用や複式簿記による記帳などが必要となります。適用を検討している方で、まだ対応がお済みでない場合は、早めに準備をお願いします。

●主な改正事項

・複式簿記による青色申告特別控除（75万円または65万円）の適用は、e-Taxが要件となります。

・簡易簿記による青色申告特別控除（10万円）の適用は、前々年の収入が1,000万円以下の方などに限られます。

詳しくは、各二次元コードからご確認ください。

リーフレット	二次元コード
【令和９年分確定申告から適用】優良な電子帳簿の保存又はデジタルシームレス保存により75万円の青色申告特別控除を適用しましょう！（令和８年６月）	
簡易簿記による10万円の青色申告特別控除を適用している皆様へ　令和９年分以後の所得税について、事業所得又は不動産所得に係る、10万円控除要件が変わります！（令和８年４月）	
事業所得や不動産所得等のある方には帳簿の記帳・保存義務があります！（令和８年６月）	

問五所川原税務署　☎0173-34-3136

令和９年度母子父子寡婦福祉資金の予約貸付申請を受け付けます

令和９年度に、高等学校・大学・専門学校などへ進学を予定しているお子さんを扶養しているひとり親家庭などを対象に、修学資金などの予約貸付申請の受付を行います。

●対象　進学を予定しているお子さんを扶養しているひとり親家庭など

●対象となる資金

①修学資金　授業料、書籍代、交通費などに必要な資金

②修業資金　就職などに必要な知識技能を習得するための資金

③就学支度資金　就学・修業するために必要な被服などの購入に必要な資金

●受付期間　11月２日(月)～令和９年１月29日(金)に、事前相談と申請を受け付けます。

●場所　青森県五所川原合同庁舎　西北福祉事務所（五所川原市栄町10）

※貸付には原則として連帯保証人が必要です。また、面接調査があり、審査会を経て貸付の可否が決定されます。

申・問西北福祉事務所　☎0173-35-2156

あおもり防災ウィークが始まります

10月29日（木）から11月12日（木）までは「あおもり防災ウィーク」です。

期間中は、県内一斉の訓練や防災に関する取り組みが行われます。

「いざというとき」に備えるため、この機会に家庭や職場で防災への備えを確認してみましょう。

●主な取り組み

・シェイクアウト訓練

11月５日（木）10：00に、防災行政無線などの合図に合わせ、頭などを落下物から守る訓練を行います。



・備蓄品の準備・確認

食料、飲料水、非常持出品などを確認し、災害時に備えましょう。

問青森県防災危機管理課　☎017-734-9181

お子さまとご家族の［日々の充実］と［将来の自立］を目標に支援活動を行っていきます

Koti

児童発達支援事業所
放課後等デイサービス［Koti（コティ）］

〒038-2733 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町館前町字後口田 28-4(旧みなみ保育園)

社会福祉法人 つくし会

0173-79-2530　月曜-金曜 9:00-16:00

広報あじがさわ有料広告

11月の納税	固定資産税［第４期］ 国民健康保険税［第５期］ 介護保険料［第５期］ 後期高齢者医療保険料［第５期］
納期限	11月30日（月）

▸納め忘れの町税はありませんか？
▸納期限までの納付にご協力を！
▸税金はコンビニでも納付可能！
▸納税は便利な口座振替で！
▸口座振替の方は残高確認を！

募　集

西北五広域福祉事務組合（森田学園）（令和９年４月１日採用）

●**募集職種**　福祉職２人程度（障がい児支援）
●**身分**　地方公務員（一部事務組合職員）
●**対象**　平成６年４月２日以降に生まれた方で、高等学校卒業以上の学歴を有する方または令和９年３月31日までに卒業見込みの方
●**日時**　12月６日（日）
●**内容**　教養試験、適応性検査、論文試験、面接試験
●**受付期間**　10月９日（金）～11月24日（火）
申・問**西北五広域福祉事務組合事務局**　☎0173-26-3100

事業主の皆さんへ

退職時の個人住民税は一括徴収の確認を

毎月の給与から天引きされている方の住民税は、１年分の税額を「６月から翌年５月まで」の12回に分けて勤務先の事業所が納入（特別徴収）しています。

従業員の退職などで住民税の特別徴収ができなくなる場合は「異動届出書」の提出が必要です。

●６月から12月までに退職する場合

残りの特別徴収税額があるときは、従業員からの申し出により、未徴収税額をまとめて退職時の給与や退職金から天引きして納入すること（一括徴収）ができます。

●翌年１月以降に退職する場合

残りの特別徴収税額があるときは、退職時の給与や退職金から天引きして納入すること（一括徴収）が義務づけられています。

問**総合窓口課　税務班**　☎0173-82-0938

大雨により被災された方へ

県税の減免などの制度があります

令和８年９月２日の大雨により被害を受けた方は、県税の減免や申告期限などの延長、徴収猶予の制度を利用できる場合があります。

問**西北県税事務所**　☎0173-34-3141

各種相談窓口のご案内

仕事や健康、生活に関する相談窓口を掲載しています。内容や日程を確認し、必要に応じて各連絡先へお問い合わせください。

名　称	日　時	場　所	主な相談内容	問い合わせ
労働相談会	11月10日㈫ 13：30～15：30 11月15日㈰ 10：00～12：00 ※随時受付、予約優先	県労働委員会 （東奥日報 新町ビル４階）	個々の労働者と事業主との間に生じた労働問題（解雇・賃金引き下げ・長時間労働・パワハラなど）について相談に応じます。	青森県労働委員会事務局 ☎017-734-9832
脳の健康チェックお薬相談会	毎月11日（いちいの日） ※予約不要	いちい薬局 鰺ヶ沢病院店	記憶力・注意力などのチェックやお薬に関する相談を受け付けます。	いちい薬局 鰺ヶ沢病院店 ☎82-0099
オンライン相談ブース	月～金曜日 ９：00～17：00	町中央公民館１階	PC画面を通じて、ハローワーク窓口の専門スタッフがお仕事の相談に応じます。	五所川原公共職業安定所 ☎0173-34-3171
こころの健康相談	11月12日㈭ 13：00～14：00 ※２日前までに要予約	青森県西北保健所	不安やストレス、心の悩みなどの相談に応じます。	青森県西北保健所 ☎0173-34-2108

広報あじがさわ有料広告

医療法人 梟衆会
七ツ石内科　鰺ケ沢町大字七ツ石町27-1
TEL 0173-72-2879
外来診療・オンライン診療
院長　今 昭人
■受付時間／　午前　8：30～13：00
　　午後　14：30～18：00
■休 診 日／　木曜日・日曜日・祝日

妊娠・出産・子育てを応援します

こども家庭センターだより

子どもの愛着障害

愛着障害のある子どもには、**わざと問題行動を起こしているように見えたり、過度にわがままに見えたり、養育者の愛情や忍耐力を試すような行動が見られる**ことがあります。また、人との関係づくりに困難さを抱える場合があります。

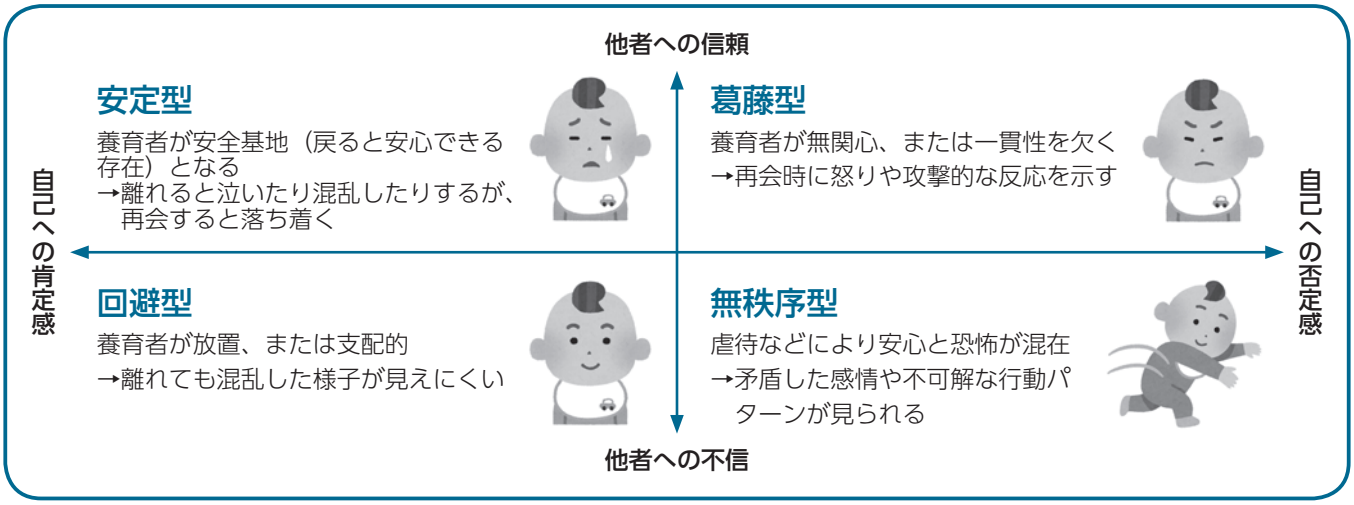
外見上の行動では、片付けができない、ルールが守れないなど、神経発達症の注意欠如・多動症（ADHD）と似ていますが、その背景や現れ方には違いがあります。

愛着の問題が続くと、うつや不安障害などの二次的な問題につながることもあります。気になる様子がある場合は、早めに専門機関へ相談しましょう。

愛着形成のための育児の３つのポイント

①お互いに楽しむ
②子どもの行動や反応を敏感に見取り、対応する
③子どもの行動に即座に反応すること

愛着形成に見られる子どものタイプと背景



オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン

11月は「秋のこどもまんなか月間」として、こども・子育てにやさしい社会づくりに向けたさまざまな取り組みが行われます。

その取り組みの一つが「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」です。児童虐待の相談対応件数は、令和５年度には約22万５千件に達しており、児童虐待の防止は、社会全体で取り組むべき課題となっています。

問ほけん福祉課　健康こども班　こども家庭センター　☎82-0954　✉boshi-center@town.ajigasawa.lg.jp

お知らせ欄の掲載方法を見直しました

今月号から、お知らせ欄を「お知らせひろば」とし、内容ごとに整理して掲載しています。
読者の皆さんが必要な情報を探しやすくなるよう、今後も紙面の見直しを進めていきます。
広報あじがさわに対するご意見・ご感想をお聞かせください。

今月の戸籍の窓

９月16日～10月15日届出分
※関係者に確認のうえ、了承を得た方のみ掲載しています。

お悔やみ申し上げます

工　藤　きぬゑ（91歳）中　村　町	嶋　川　冷　子（90歳）林　　町
長谷川　昭　雄（71歳）南浮田町	三ツ谷　春　雄（86歳）浜　　町
後　藤　兼　光（88歳）小　　夜	奈　良　兵　一（78歳）舞戸東町
尾　崎　幸　夫（57歳）建　石　町	稲　見　敏　子（95歳）富　根　町
中　村　キ　ネ（88歳）長　平　町	長谷川　廣　志（84歳）川　　尻

鰺高通信

○流し踊り　紹介

今回は、鰺ヶ沢町無形文化財保存会の協力を得て、９月11日に行われた流し踊りの様子を２年生の北澤瑠華さんが紹介します。

今年も鰺ヶ沢甚句に合わせてみんなで踊り、鰺ヶ沢町の伝統文化に触れることができました。浴衣を着て、みんなで列になって踊るのは、普段なかなかできないことなので、思い出深い体験をすることができました。今回は９月２日の大雨による浸水被害のため、町内でのパレードは実施できず、鰺ヶ沢高校体育館で行いました。最初、各学年ごとにそれぞれ踊りましたが、私はみんなに見られていると思うと、緊張してしまいました。前に進む速度を隣の人と合わせるのに苦労しましたが、何とかきれいに列を保って踊ることができました。最後に全学年と保存会の人が一緒になって踊りました。来年の流し踊りの時は、先輩たちのように、もっと美しい踊りができるようになっていたいと思います。


３年生


１年生


あっぷるワイドの撮影


保存会のみなさん

問青森県立鰺ヶ沢高等学校　☎0173-72-2106　HP：https://www.ajigasawa-h.asn.ed.jp/

法テラス鰺ヶ沢通信　Vol.132

岩木山への登山に挑戦


村山弁護士

先日、岩木山への登山に挑戦してきました。９合目までは車とリフトを使って登りました。リフトを降りた後、歩いて頂上まで登るつもりでしたが、体力の限界がきて、途中で引き返してしまいました。９合目から歩くルートなので、頂上までは楽に登ることができると思っていましたが、それは甘い考えだったと知り、登山の厳しさを実感しました。20代の時と比べ、体力の衰えを感じたため、ランニングや筋トレなどで体を鍛えて、再度挑戦したいと考えています。

帰りは岩木山の近くにある日帰り温泉に入りました。硫黄の匂いがとても独特で、疲れた身体を芯からほぐしてくれる至福のひとときとなりました。青森県にはたくさんの温泉があるため、今後は温泉巡りもしてみたいと思います。

弁護士　村山　創太郎

法テラス鰺ヶ沢法律事務所の概要

◆所 在 地　〒038-2761
鰺ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4
鰺ヶ沢町総合保健福祉センター内

◆業務時間　平日　9：00～17：00
（土・日・祝日・年末年始は休業）

◆電話番号　050-3383-8369

◆取扱業務　借金整理、金銭トラブル、離婚、相続、不動産、労働問題、刑事事件など

◆弁護士に依頼する方法
まずは、**お電話**で法律相談を**ご予約**ください。

※原則として、法律相談は事務所にお越しいただき、対面で行います。ただし、来所が困難な場合は、弁護士による出張法律相談や電話相談に対応できる場合があります。

※収入や預貯金が少ない方は、同じ問題について３回まで無料相談ができる場合があります。

～鰺ヶ沢町にお住まいのみなさまへ～

弁護士に相談することなのか分からない場合でもお気軽にお電話ください。

広報あじがさわ №666（令和8年10月22日発行）
発行・編集：鰺ヶ沢町総務課　青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321
TEL：0173-82-0911　FAX：0173-72-2374
広報広聴担当アドレス：ajkoho@town.ajigasawa.lg.jp

公式WEBサイト

公式LINE

あじ行く？インスタ

公式X

わたしの
We Love あじがさわ 5

＼町で暮らし、学び、働く人たちにインタビュー！／



ふじた えりこ 藤田 恵理子 さん
外海吟社（そとうみぎんしゃ）　会員（事務局）

Q. 鰺ヶ沢町の好きなところは？

A. 豊かな自然と、教員時代に出会った子どもたちとの思い出が町のあちこちにあるところです。子どもたちにカタクリの花が一面に咲く丘へ連れて行ってもらったことやカジカ釣り、長谷川自然牧場での豚の餌やりなどが心に残っています。

Q. 外海吟社では、どのような活動をしていますか？

A. 大正８年設立の歴史ある会で、毎月俳句を作り、鑑賞し合っています。年２回の句会では、昼食を共にしながら楽しく学んでいます。新たに４人が加わり、活気も増しました。興味のある方は、ぜひ気軽に声をかけてください。

Q. これからの鰺ヶ沢は、どのようになってほしいですか？

A. 人情味あふれる人々の温かさ、おいしい海と山の幸。東京の友人も、鰺ヶ沢の魅力に感動していました。こうした魅力のある町で、若い人たちが情熱と希望を持ち、存分に力を発揮できるようになればと思います。

≪広報担当取材ノート≫
見せていただいたノートには、思いついた言葉や句がびっしり。季語から情景を思い浮かべたり、伝えたい思いに合う季語を探したり。完成した句を読むだけでは分からない、言葉を選ぶ難しさや面白さを教えていただきました。

まちのわだいに載せきれなかった１枚！



どんなお話をしているのかな？



自分で作った栗の和菓子に、ボーノ！

町長のひとこと Vol.6



読書の秋

経歴書などで趣味を記入する欄があると、私はいつも「読書」と書いています。もちろん、書くだけではなく本は読んでいます。

好きな分野は歴史もの。中国を舞台にした歴史小説では、吉川英治の『三国志』を愛読しているほか、宮城谷昌光の『楽毅』『太公望』、北方謙三の『史記 武帝紀』なども読んできました。

日本の時代小説も好きで、池波正太郎の『鬼平犯科帳』や『剣客商売』は読み返すこともありますし、ほかに和田竜の『のぼうの城』や『村上海賊の娘』などもおもしろく読みました。

ただ一方で、私は分野を問わず新刊のタイトルやキャッチコピー、帯文にひかれ、つい購入してしまうこともしばしば。その結果、書棚には手つかずの本や読みかけの本が並んでいます。

それにも懲りず、町内の書店から本を購入しています。『継体天皇』『トヨタの業務標準化』『世界一わかりやすい日本の農業の教科書』『リーダーの挫折力』『Claude仕事術』と、タイトルも分野も実に様々。

読書の秋。せっかく購入した本ですから、時間を見つけて一冊ずつ読み進めたいと思います。

このままでは、経歴書の「趣味」の欄に「読書」ではなく「本の購入」と書かなければなりませんから…。

町の人口（９月末現在）
男 3,805人（－ 5）　女 4,248人（－16）
計 8,053人（－21）　世帯数 4,246（－ 2）
※（　）は先月との比較

交通事故発生状況（９月中）
発生件数 6件（－ 4）　死 者 数 0人（－ 1）
傷 者 数 9人（± 0）　※（　）は前年との比較
■鰺ヶ沢警察署交通課（☎72-2151）